

## 定例記者会見資料



公立大学法人  
島根県立大学

○日 時	平成24年12月12日(水) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p><b>【浜田キャンパス】</b> 島根県立大学産業コンテスト 「MAKE DREAM 2012」最終プレゼン発表会の開催……………【資料1】</p> <p>「石州左官」と「鍍絵」に関する研究成果発表会……………【資料2】</p> <p><b>【松江キャンパス】</b> 客員教授講演会 「保幼小のカリキュラムの接続 ―躍動する保育・集中する授業―」の開催 ……………【資料3】</p>
○資料提供 項目	
○行事予定	<p><b>【浜田キャンパス】</b> 12月12日 18:45～ 公開講座「ヤスパース『原爆と人間の将来』を読む」(講師：村井 洋 教授)</p> <p><b>【松江キャンパス】</b> 12月12日(水)、12月26日(水)、1月9日(水) いずれも19:00～ 公開講座「栄養士のためのステップアップ講座」(講師：健康栄養学科教員)</p>

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。

なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200

出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200

松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

マスコットキャラクター「オロリン」です。



記者発表資料：平成 24 年 12 月 12 日

担当：浜田キャンパス

総合政策学部 講師 久保田 典男

電話 0855-24-2200 (代)

## 島根県立大学産業コンテスト MAKE DREAM 2012

### 最終プレゼン発表会の開催について

この度、島根県立大学の学生が、学生ならではの新たな視点で浜田の地域資源を捉え直し、地域資源を活用したビジネスプランを発表する産業コンテスト「MAKE DREAM 2012」の最終プレゼン発表会を開催することとなりました。

このコンテストは学生に自らのアイデアを発表する場を与えるとともに、地域の企業や行政担当者等に地域活性化のヒントを提供することを目的としています。詳細は以下の通りです。

【開催日時】平成 24 年 12 月 14 日（金）15 時～

【開催場所】島根県立大学 交流センター コンベンションホール

【主催】はまだ産業振興機構

【共催】島根県立大学、浜田市、浜田商工会議所、石央商工会

【協力】島根県商工会連合会石見支所、日本政策金融公庫浜田支店

【発表者】島根県立大学生 5 組

(21 組の応募者から書類選考による 1 次審査を経て選出)

なお、今年度は浜田高等学校・浜田水産高等学校の事例発表及び昨年度に最優秀賞を受賞したプランの取り組みについての進捗状況報告も予定しています。

【参加方法】公開発表形式のため誰でも参加可能（参加費は無料）

【添付資料】MAKE DREAM 2012 概要（別紙 1）

最終プレゼン発表会進出者と発表テーマ（別紙 2）

最終プレゼン発表会審査員（別紙 3）

## 島根県立大学産業コンテスト

# MAKE DREAM 2012

～ぼくの夢が街を活かす。私の夢が街で生きる。～

■主催 はまだ産業振興機構

■共催 島根県立大学、浜田市、浜田商工会議所、石央商工会

■後援 日本政策金融公庫浜田支店、島根県商工会連合会石見支所

### ■目的

浜田市には、魅力ある地域資源（※）がたくさんあります。知られていない地域資源も少なくありません。

浜田に生活し豊かな創造性を有する島根県立大学の学生が、新たな視点で浜田の地域資源を捉え直し、地域資源を活用した新たなビジネスプランを発表する『MAKE DREAM 2012』を実施し、「今」あるものを大切に「これから」の時代に合った新産業や新事業創出を提案します。

島根県立大学の学生に自らのアイデアを発表する場を与えると同時に、地域の企業に企業発展のヒントを提供し地域活性化を目指します。

※地域資源とは、その地域にとって強みとなるものを幅広く指します。

### ■対象者

島根県立大学生（浜田キャンパス）

（応募は原則個人、グループ申請の場合は2名1組による応募まで可）

### ■ビジネスプランのテーマ

浜田の地域資源（※）を活用したビジネスプランで、以下のいずれかに該当するもの。

- (1) 自ら考案したもの
- (2) 既存の事業にオリジナル性を加えたもの

書類審査を含め審査については、独創性、市場性・採算性、熱意、実現可能性、知識・能力、計画性、地域貢献性等について総合的に評価します。

なお、審査の内容に関するお問合せには一切お答えできません。

## ■応募手続き

応募申込書を添付ファイルの形式で以下のメールアドレス宛に提出してください。

提出先：n-kubota@u-shimane.ac.jp（島根県立大学 久保田典男研究室）

## ■提出期限

平成24年11月9日（金）午後5時必着（メールにて送信）

## ■賞品

最優秀賞 1名（賞状及び5万程度の賞品を贈呈します）

優秀賞 2名（賞状及び2万程度の賞品を贈呈します）

## ■スケジュール

### ● 応募期間

平成24年10月1日（月）～平成24年11月9日（金）午後5時必着

### ● 1次審査（書類選考）

平成24年11月12日（月）～11月22日（木）

開催者側により書類審査を実施し、応募総数から5件程度に絞り込みます。

（21件の応募に対し、5件に絞り込み）

### ● 最終プレゼン発表会

日時：平成24年12月14日（金）午後3時～

場所：島根県立大学 交流センター コンベンションホール

公開発表会形式にて開催します。（どなたでもご来場できます。）

10～15分間程度のプレゼンテーションと5～10分間程度の質疑応答を行い、審査会開催後、各賞受賞者を決定します。

プレゼンテーションではパワーポイントの使用も可能です。

（最終プレゼン発表会の発表者及び発表テーマは別紙2参照）

## ■審査員

主催、共催、後援団体・機関から1名ずつ選出

（最終プレゼン発表会の審査員の詳細は別紙3参照）

# 島根県立大学産業コンテスト

## MAKE DREAM 2012

### 最終プレゼン発表会進出者と発表テーマ

●高尾 昌宏（2年）

しまね S-1 グランプリ～浜田の海産物を使用した低価格料理コンテスト

●渡辺 真也（3年）

温泉バイキング in 浜田

●坂口 結花、相澤 美里（2年）

「さかなのがっこう」～もっと浜田をすきになる～

●上治 陽香（3年）

どんちっちラーメン～塩ラーメンで浜田を活性化プロジェクト

●西谷 匠平（4年）

うずめ飯を浜田飯に

（当日の発表順）

※なお、浜田高等学校・浜田水産高等学校の事例発表及び

昨年度に最優秀賞を受賞したプランの取り組みについての進捗状況報告も予定しています。

島根県立大学産業コンテスト

MAKE DREAM 2012

最終プレゼン発表会審査員

●浜田市

産業政策統括監 富田 晋司 氏

●浜田商工会議所

会頭 岩谷 百合雄 氏

●石中央商工会

会長 藤田 教造 氏

●島根県立大学

総合政策学部 講師 久保田 典男 氏

●日本政策金融公庫

浜田支店 支店長 金子 英一郎 氏

●島根県商工会連合会

石見支所 支所長 葛西 章 氏

僕の夢が街を活かす  
私の夢が街で生きる

## 島根県立大学産業コンテスト

# MAKE DREAM 2012

～最終プレゼンテーションのご案内～

と き 12月14日（金） 午後3時～午後5時

ところ 島根県立大学 交流センターコンベンションホール

MAKE DREAM 2012

ここ浜田市には1000名以上の島根県立大学生が居住し、今や浜田市にとって学生の存在を抜きにしては語れません。

そこで今回、島根県立大学の学生を対象に、浜田市の魅力ある地域資源を活用した新しいビジネスプランを募集しました。

最終的に21組の募集に対し、1次審査を経て、5組（次頁参照）に絞りこまれたプランを、当日、本人に熱く語って頂きます。県大生に公の場で自らのアイデアの発表をしてもらうとともに、地域企業や社会にビジネスヒントを提供してもらうことで、共に発展を願い、この浜田市の更なる地域活性化を目指すものです。

浜田の企業の方はもちろん、浜田の発展を願うたくさんの方々に県大生の生の熱い思いをお聞き頂き、将来の元気な浜田へのヒントとして繋げていきたいと考えておりますので、ぜひこの機会にご来場ください。

尚、今年は浜田高等学校・浜田水産高等学校の事例発表並びに、前回の最優秀賞を受賞したプランの取り組みについての進捗状況報告も予定しておりますので、あわせてお聞き下さい。

聞いて欲しい  
私たちの「浜田が好き！」  
な思いを

主催 はまだ産業振興機構

共催 島根県立大学

浜田市・浜田商工会議所・石央商工会

後援 日本政策金融公庫浜田支店

島根県商工会連合会石見支所

申込み・問合せ【石央商工会旭支所 担当：服部 電話 45-0056 FAX45-0339】

石央商工会旭支所 行き

企業・団体名：			
氏名		氏名	
氏名		氏名	

申込締切12月10日（月）



2012年12月12日  
島根県立大学 浜田キャンパス  
総合政策学部  
担当者 井上厚史  
電話 0855-24-2242

## 「石州左官」と「鍔絵」に関する研究成果発表会について

### 1. 目的・理由

総合政策学部井上厚史ゼミの3回生の学生13名は、今年度調査してきた「石州左官」と「鍔絵（こてえ）」に関する調査結果をまとめ、60ページの小冊子にまとめた。ついでには、学生の調査結果を広く市民の方に知ってもらおうとともに、石見地方の大切な文化遺産＝地域資源である「石州左官」および「鍔絵」に対する関心を高めてもらい、鍔絵の保存や修復をすすめるきっかけになればと考え、研究成果発表会を開催することにした。

### 2. 日時

2012年12月19日（水）13:20～15:00

### 3. 会場

浜田キャンパス講義研究棟 中講義室5

### 4. 発表者

総合政策学部井上厚史ゼミの3回生の学生13名

### 5. 内容

ゼミの学生が制作した小冊子の紹介とともに、パワーポイント使った各地の鍔絵の紹介、ならびに制作にまつわる苦労話等を紹介する。聴講は誰でも可能。鍔絵に関心を持っている人には、特にお越しいただきたい。

### 6. 参加方法等

事前の連絡、および参加費は不要です。

### 7. 概要等

石州は、かつて大田市仁摩町馬路を中心として、華麗で装飾的な漆喰細工＝「鍔絵（こてえ）」を作り出す左官職人を輩出した地域として有名であり、島根県だけでなく、広島県や山口県の古民家の壁に多くの作品を残してきました。しかし、近年の住宅事情の変化によって古民家が解体されたり、老朽化や空き家となって



放置されたために、多くの優れた鍔絵が崩壊の危機にあります。

本ゼミでは、銀山街道の継続的な調査をすすめるうちに、鍔絵のすばらしさを再発見し、この貴重な文化遺産を一人でも多くの人に知ってもらい、保存・復元の機運を高めようと、一年間行なってきた調査結果を小冊子にまとめました。今後も引き続き調査を継続し、『大学生がつくる石州左官・鍔絵ガイドブック』の制作を目指していこうと思っています。

今回は制作した小冊子 50 部を、成果発表会に参加された方々に無料で配布したいと思っています。学生の成果を聴きに來てくださると同時に、石州左官や鍔絵に対する関心を高めていただければ幸いです

平成 24 年 12 月 12 日  
 島根県立大学松江キャンパス  
 担当者：山下由紀恵  
 (TEL:0852-26-5525)

## 島根県立大学短期大学部客員教授講演会

# 「保幼小のカリキュラムの接続： — 躍動する保育・集中する授業 —」

講師：白梅学園大学大学院教授 無藤隆 先生



### 《講師ご紹介》

平成 17 年より 19 年 10 月まで白梅学園大学学長。現在は同大学院研究科長、子ども学研究所長。

日本発達心理学会前理事長、日本質の心理学会前理事長、日本保育学会常任理事、文部科学省中央教育審議会教育課程部会委員、日本学術会議連携委員。

本学保育学科では、島根県内の幼保一体化と保幼小連携教育について、現状と課題を探る共同研究を進めてきました。

島根県内では、幼保一体化については 20 年近い歴史をもつ地域もある一方で、保幼の小学校との連続性は、特別に支援の必要な子どもを中心に、やっと始まったばかりです。

これからの「こども園」時代の新たな保幼小連携に向けて、「保幼小のカリキュラムの接続」をテーマに、集い学びましょう。

現在「子ども子育て新システム」の「こども指針」WG 座長を務めておられる無藤隆先生にお願いいただくことになりました。保育所・幼稚園・小学校で、いま必要となっていることは何か、専門職に向けてお話しをいただきます。

参加を希望される方は、裏面の申込書で 1 月 5 日までに申し込みください。

(受講料無料)

2013 年 1 月 13 日 (日)

14 時～15 時半

島根県民会館 (中ホール)

松江市殿町 158 [TEL:0852-22-5506(代)]



《お問い合わせ》 島根県立大学短期大学部 保育学科教授 山下由紀恵

690-0044 松江市浜乃木 7 丁目 24-2

[TEL:0852-26-5525 (代)] [FAX:0852-21-8150 (代)]



FAX 送信先

0852-21-8150 (代)

島根県立大学短期大学部松江キャンパス 690-0044 松江市浜乃木 7-24-2

1月13日客員教授講演会（島根県民会館）参加申し込み書（1月5日締め切り）

参加機関名	
申込者 氏名	
連絡先 FAX 番号	(            ) - (            ) - (            )

開催変更や定員締め切り等について、ご連絡しなければならないときには

FAXでお知らせします。必ず、連絡先 FAX 番号をご記入ください。

島根県の状況を参考にさせていただきたいと思いますので、下記欄にお答えくださいますようお願いいたします。

貴機関の保幼小連携教育の状況は、今現在はどの段階ですか→○印をつけてください。

今後の希望としては、どこまで連携を進めたいですか→◎印をつけてください。

- ( ) ステージ1（存在を知る） 幼児児童の行事参加・保育者教員の授業参観
- ( ) ステージ2（関わりあう） 幼児児童の交流学習開始・保育者教員の交流会や協議会の立ち上げ
- ( ) ステージ3（分かりあう） 幼児児童の交流学習定着・保育者教員の交流学習打ち合わせ・協議定着
- ( ) ステージ4（協力して教育） 幼児児童の共同カリキュラム実施・保育者教員の共同カリキュラム会議